

株主のみなさまへ

株式会社 安川電機

第102期中間ご報告

2017年3月21日 ▶ 2017年9月20日

(証券コード：6506)

株式会社 安川電機

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2017年度中間期の当社業績につきましては、製造業における生産設備の高度化・自動化を背景とした旺盛な需要を受け、中国をはじめ海外を中心に好調に推移しました。特にACサーボモータ・コントローラ事業の販売が伸長したことから、前年同期比で大幅な増収増益となり、中間期としては過去最高の業績となりました。また、このような状況を受けて2017年度通期の業績見通しを上方修正したことから、3カ年計画で進めている中期経営計画「Dash 25」の数値目標（2018年度）を1年前倒しで実現できる見込みとなりました。2017年下期においては、ロボットやモーションコントロールといった既存事業の枠にこだわらない製品戦略のコンセプトづくりを進め、更なる高採算の実現を通じた企業価値の向上と持続的成長を安川グループ全員で目指してまいります。

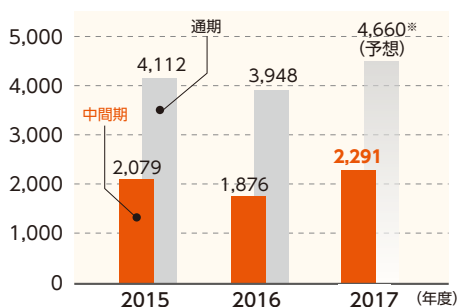
株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2017年11月

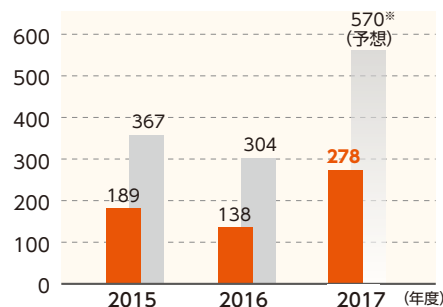
代表取締役社長 **小笠原 浩**



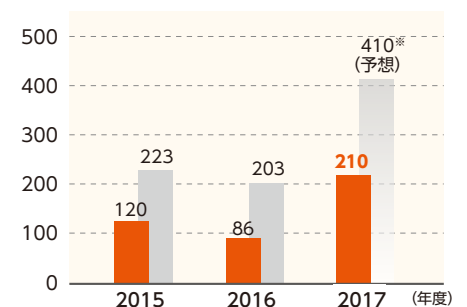
● 連結売上高 (単位:億円)



● 営業利益 (単位:億円)



● 親会社に帰属する当期純利益 (単位:億円)



※当社は2017年度より決算期を3月20日から2月末日に変更しますが、表中の2017年度業績予想値はこれまで通りの決算期（2017年3月21日～2018年3月20日）に置き換えた数値を掲載しています。
なお、決算期変更後（2017年3月21日～2018年2月28日）の2017年度業績予想値は、売上高：4,500億円、営業利益：540億円、親会社に帰属する当期純利益：390億円となります。

ロボット 新たな挑戦を続け進化するロボット



当セグメントを構成する産業用ロボットは、自動車関連市場を中心に、さまざまな産業分野において溶接、塗装、組立、搬送などの自動化に貢献しています。当社はロボットを構成する機械部品やコントローラなどを自社開発しており、高度化するお客様の要求にきめ細かく対応していくことで、トップメーカーの地位を築いています。

■売上高・営業利益

売上高

804億45百万円

前年同期比 17.7%増

営業利益

85億66百万円

前年同期比 53.3%増

溶接・塗装ロボットなどの主力製品を展開する自動車関連向けの売上は、海外で堅調に推移しました。また、自動車関連以外の一般産業分野向けの売上は、スマートフォン・家電などの生産自動化に伴う旺盛な需要を受け、中国を中心に拡大しました。これらの結果、売上高、営業利益ともに前年同期比で増加し、収益性は大幅に改善しました。

■新製品

業界最小・最軽量の新型ロボット MotoMINI を発売

技術革新の進化やニーズの多様化により、家電やスマートフォンなどの小型製品には効率よい多品種少量生産が強く求められるようになってきています。このようなニーズに対応すべく、6軸の多関節ロボットで業界最小・最軽量となる新型ロボット MotoMINI の販売を開始しました。小型化・軽量化によってフレキシブルな生産設備の構築に貢献し、電子・電気部品など小物製品の生産自動化に求められる次世代製造ライン構築へのソリューションを提供します。



MotoMINI

主な用途

- 電気・電子部品など小物部品の搬送、組立
- 加工機など装置内での小型部品の組立

システムエンジニアリング 世界に誇る安川電機のシステム技術



永久磁石式発電機 高速タイプ



高圧マトリクスコンバータ

鉄鋼・水処理プラントなどにおいて当社は高度なシステム技術と高品質な製品で最適なソリューションを提供し、快適な暮らしと豊かな町づくりに貢献しています。また、環境・エネルギー分野においては、省エネ・創エネ技術を応用し、大型風力発電関連ビジネスを展開するなど、クリーンパワー事業に参入しています。

■売上高・営業利益

売上高

281億59百万円

前年同期比 14.1%増

営業損失

△17億77百万円

鉄鋼プラントシステム・社会システム分野は、設備の更新ニーズを的確に捉え、堅調に推移しました。環境・エネルギー分野では、大型風力発電関連の売上が堅調に推移した一方、太陽光発電用パワーコンディショナ関連の販売低迷により、収益性が悪化しました。これらの結果、売上高は前年同期比で増加したものの、営業損益は僅かながら悪化しました。

決算期変更のお知らせ

当社グループが今後もグローバル企業として着実な成長を続けていくにあたり、経営情報の適時・的確な開示による更なる経営の透明性の向上を図ることを目的として、海外連結子会社を含むグループ全体の決算期(事業年度の末日)を2月末日に統一いたします。なお、決算期変更の経過期間となる第102期(2017年度)は、2017年3月21日から2018年2月28日までとなる予定です。

決算期変更の内容

| | |
|-----|----------|
| 従来 | 毎年 3月20日 |
| 変更後 | 毎年 2月末日 |

2017年度の会計期間(四半期ごと)

| 2017年度 | | | |
|-----------|-----------|------------|------------|
| 第1四半期 | 第2四半期 | 第3四半期 | 第4四半期 |
| 3/21~6/20 | 6/21~9/20 | 9/21~12/20 | 12/21~2/28 |

モーションコントロール 世界のニーズにこたえるモーションコントロール事業



汎用インバータ



ACサーボドライブ

当セグメントには、ACサーボモータ、コントローラ、インバータなどの製品があります。ACサーボモータ、コントローラは電子部品や半導体部品などの高い精度が求められる生産機器に組み込まれています。インバータはエアコン、クレーン、エレベータなどに利用され、きめ細かなモータ制御によって、省エネにも大きく貢献しています。

■売上高・営業利益

売上高

1,103億84百万円

前年同期比 32.6%増

営業利益

217億77百万円

前年同期比 101.6%増

ACサーボモータ・コントローラにおいては、生産設備の自動化加速や、スマートフォン関連の高需要により、大幅な増収増益となりました。インバータにおいては、中国におけるインフラ投資の回復や米国でのオイル・ガス関連の需要回復を背景に、売上は前年同期比で伸長し、収益性も改善しました。これらの結果、セグメント全体の売上高は前年同期比で大幅に伸長し、営業利益は倍増しました。

■新製品

世界初! GaN パワー半導体を搭載したアンプ内蔵サーボモータを発売

ACサーボドライブΣ-7シリーズの新たなラインアップとして、世界初となるGaN[®]パワー半導体を搭載したアンプ内蔵サーボモータ(Σ-7Fモデル)の発売を開始しました。サーボモータとサーボパック機能を一体化させ、従来のサーボパックのアンプ部と比較し、体積比1/2を実現。装置や制御盤におけるサーボドライブシステムのさらなる小型・高効率化に貢献します。

※Ga(ガリウム)とN(窒素)の化合物



アンプ内蔵サーボモータ (Σ-7Fモデル)

主な用途

- 搬送装置
- 食品・包装機械
- 一般産業用機械

クレーン専用インバータ CR700 を発売

「多才」「使いやすさ」「安心」をコンセプトとした次世代インバータシリーズの第2弾として、クレーン用途に特化したCR700を市場投入しました。30年にわたるクレーン用インバータ開発の経験で培った「ブレーキシーケンス機能」、生産性・作業性を向上させる「斜行防止機能」、そして新しく装備された安心の「荷振れ抑制機能」により機械・設備を革新し、クレーンの信頼性・生産性向上に貢献します。



CR700

主な用途

- 大形クレーン

その他

■売上高・営業利益

売上高

101億24百万円

前年同期比 10.8%減

営業損失

△53百万円

その他セグメントは、情報関連事業および物流サービス事業などで構成されています。経営の効率化を目的とした構造改革を進めたことにより、売上高は前年同期比で減少したものの、収益性は改善しました。



グローバル通信アダプタ MMLink-3G



LIBWE加工装置

●株式の状況 (2017年9月20日現在)

■発行済株式の総数 266,690 千株

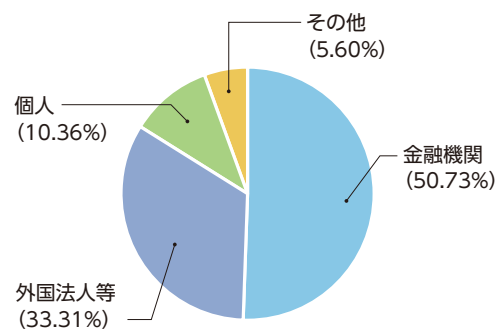
■株主数 33,246 名

■大株主の状況

| 大株主(上位10名) | 持株数 | 持株比率 |
|--|----------|-------|
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 24,462千株 | 9.18% |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 23,673千株 | 8.88% |
| 株式会社みずほ銀行 | 8,100千株 | 3.04% |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行退職給付信託口) | 7,970千株 | 2.99% |
| 明治安田生命保険相互会社 | 7,774千株 | 2.92% |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・株式会社福岡銀行退職給付信託口) | 6,375千株 | 2.39% |
| BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC) | 4,715千株 | 1.77% |
| PICTET AND CIE (EUROPE) SA, LUXEMBOURG REF: UCITS | 4,388千株 | 1.65% |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5) | 4,311千株 | 1.62% |
| STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY | 4,131千株 | 1.55% |

(注)持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

■所有者別株式分布状況



■配当金情報

| 第102期(自2017年3月21日 至2018年2月28日)配当について | | | |
|--------------------------------------|-------|---------|--|
| 中間配当 | 1株につき | 20円 | |
| 期末配当 | 1株につき | 20円(予想) | |
| 年間 | 1株につき | 40円(予想) | |

| | |
|----------------------|--|
| 事業年度 | 毎年3月1日から翌年2月末日まで(2018年度より)〈注〉 |
| 定時株主総会開催月/配当金受領株主確定日 | 5月/毎年2月末日および8月31日(2018年度より)〈注〉 |
| 公告方法 | 電子公告 (http://www.yaskawa.co.jp/ir/) |
| 株主名簿管理人 | 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 |

〈注〉当社は、2017年6月15日開催の第101回定時株主総会において「定款一部変更の件」を決議し、決算期を3月20日から2月末日に変更しました。決算期変更の経過期間となる第102期(2017年度)の事業年度は、2017年3月21日から2018年2月28日までとなり、配当金受領株主確定日は、2017年9月20日および2018年2月28日となります。

■未払い配当金のお支払い

みずほ信託銀行・みずほ銀行の本店および全国各支店にてお支払いいたします。

※みずほ証券の本店および全国各支店においても、取次ぎをいたします。

■住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取方法のご指定、確定申告、相続に伴うお手続き、マイナンバーのお届出等

証券会社に口座をお持ちの株主さま 口座を開設されている証券会社にお問い合わせください。

証券会社に口座をお持ちでない株主さま(特別口座に記録されている株主さま) 下記連絡先にお問い合わせください。

●みずほ信託銀行 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324

■お問い合わせ先

〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

フリーダイヤル
0120-288-324

オフィシャルサイト、YASKAWAレポートのご案内

<https://www.yaskawa.co.jp/>

最新のニュースやIR情報、製品情報など当社をご理解いただくためのさまざまな情報をご提供しています。

安川電機

検索



QRコード



株主・投資家情報をクリック



YASKAWAレポート/
アニュアルレポート



YASKAWAレポート

- 安川電機のビジネスモデル
- 沿革と強み
- トップインタビュー
- 特集 中国現地レポート
- 事業セグメント別情報
- CSR担当役員メッセージ
- 社外取締役に関く安川電機のガバナンス
- 役員紹介
- 環境への取り組み

QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。